11月20日（金）

第1会場（三の丸ホール　大ホール）

9：25～9：30

開会挨拶／安全第一

▶中川　儀英（東海大学医学部救命救急医学）

9：30～10：40

企画セッション1／ドクターヘリ落着事故、その瞬間 ― それぞれの立場から振り返る ―

座長　守田　誠司（東海大学医学部救命救急医学）

企画1-1　ドクターヘリの落着事故後に浮かび上がった救急搬送の課題
▶岡　　義之（秦野市消防本部　警備第一課）

企画1-2　あの60秒間で優先したもの
▶岡田　卓磨（秦野市消防本部　消防管理課）

企画1-3　ドクターヘリ着陸事故に研修医として搭乗して
▶飯島　宏章（海老名総合病院　耳鼻咽喉科／東海大学医学部　耳鼻咽喉科・頭頸部外科学）

企画1-4　あの時感じた思いから振り返る、落着事故を経験したフライトナースの視点
▶吉田　強志（株式会社ResCare／在宅看護センターえん和）

企画1-5　Dr Heliハードランディングが私にもたらしたもの
▶西野　智哉（東海大学医学部救命救急医学）

企画1-6　事故の教訓を未来へつなぐ
▶馬場　寿政（エアロトヨタ株式会社運航統括部　東日本運航部EMSグループ）

10：45～12：25

シンポジウム1／ドクターヘリ運航の安全を守るⅡ

座長　猪口　貞樹（社会医療法人JMA　海老名総合病院）
　　北村　伸哉（国保直営総合病院　君津中央病院）

SY1-1　医療搬送用ヘリコプターの事故調査に関する経過報告及び水上飛行時における留意事項について
▶奥山　克也（運輸安全委員会航空事故調査官）

SY1-2　ヘリコプターの安全性と人材確保の取組
▶藏　　智彦（国土交通省航空局乗員政策室　室長）

SY1-3　安全で持続可能なドクターヘリ運航に向けた国の取組
▶三反田拓志（厚生労働省医政局地域医療計画課　救急周産期医療等対策室）

SY1-4　ドクターヘリの安全で持続可能な運航についてHEM-Netの要望
▶鷺坂　長美（HEM-Net理事長）

SY1-5　ヘリコプター乗員向け不時着対応訓練（ADC）の受講結果とditchingに対する安全対策の今後
▶北村　伸哉（国保直営総合病院　君津中央病院）

SY1-6　航空医療における最新ヘリコプター技術の進化と飛行安全性向上への活用
▶中村　昌宏（エアロトヨタ株式会社）

SY1-7　ドクターヘリの安定した運用
▶辻　　康二（認定NPO救急ヘリ病院ネットワーク（HEM-Net））

11月20日（金）

第1会場（三の丸ホール　大ホール）

13：50～14：10

総　会

14：10～14：25

理事長講演

座長　中川　儀英（東海大学医学部救命救急医学）

ドクターヘリ運航開始25年に寄せて

▶猪口　貞樹（海老名総合病院）

14：30～16：00

企画セッション2／災害時に航空医療は何ができるのか ― 多機関連携の現実と未来 ―

座長　山下　典雄（久留米大学病院）
横田　英己（エアロトヨタ株式会社）

企画2-1　災害時に航空医療は何ができるか ～消防組織と消防航空隊の活動～
▶松﨑　祐一（横浜市消防局　横浜ヘリポート　航空課長）

企画2-2　海上保安庁の災害対応について
▶小野　泰弘（海上保安庁　警備救難部　救難課）

企画2-3　自衛隊の災害派遣について
▶村﨑　隼人（統合幕僚監部参事官付　災害派遣班専門官）

企画2-4　災害派遣における航空医療搬送 ～災害派遣の実態と航空支援集団の役割～
▶小西　　透（防衛省　航空自衛隊　航空支援集団司令部　医務官）

企画2-5　大規模災害時における空路医療搬送 ― ドクターヘリの運用と空路医療搬送調整 ―
▶中村　光伸（前橋赤十字病院　集中治療科・救急科）

11月20日（金）

第1会場（三の丸ホール　大ホール）

16：05～17：25

シンポジウム2／安全な航空医療を支える救急医の役割 ― 臨床判断・チーム医療・教育の視点から

座長　吉原　秀明（鹿児島市立病院）
　　岩瀬　史明（山梨県立中央病院）

SY2-1　現場活動と多職種連携における横断的の横断的コーディネーション
～ CRM/AMRM の視点から～

▶米盛　輝武（社会医療法人仁愛会　浦添総合病院 救命救急センター）

SY2-2　救急医の資格・専門性は病院前診療の質を左右するか
― 全国ドクターヘリレジストリの解析と提言

▶大森　一彦（順天堂大学医学部附属静岡病院）

SY2-3　ドクターヘリ上空待機時間削減に向けた取り組みとリアルタイム情報共有システムの導入

▶井田俊太郎（鹿児島市立病院　救命救急センター）

SY2-4　レジリエンスのあるドクターヘリチームを目指して
― チーム医療と DX が支える安全な航空医療 ―

▶板井　純治（広島大学大学院救急集中治療医学）

17：25～17：30

閉会挨拶

▶中川　儀英（東海大学医学部救命救急医学）

11月20日（金）

第2会場（三の丸ホール　小ホール）

9：40～10：50

パネルディスカッション3／航空医療の現場で求められる臨床判断 ― 限られた環境で最善の医療を考える

座長　奈良　　理（手稲渓仁会病院）
　　本村　友一（日本医科大学千葉北総病院）

PD3-1　救命可能性をどう見極めるか
― 多数傷病者事案におけるドクターヘリ搬送順位の臨床判断 ―
▶上谷　　遼（岐阜大学医学部附属病院　高度救命救急センター）

PD3-2　山奥で岩に足を挟まれた傷病者の救助現場にドクターヘリを使用し医師を現場派遣した症例
▶鈴木　康明（小田原市消防本部）

PD3-3　J-CCETTにより重症骨盤外傷患者に対し搬送前診療から介入し安全な国際医療搬送を実現した1例
▶宮里　実幸（NPO法人　J-CCETT）

PD3-4　高速道路事案対応に向けた愛知県ドクターヘリの取り組み
▶寺島　嗣明（愛知医科大学病院　高度救命救急センター）

10：55～12：20

パネルディスカッション2／航空医療を支える人材育成とチームづくり

座長　米盛　輝武（浦添総合病院）
　　中村　光伸（前橋赤十字病院）

PD2-1　フライトドクター養成教育カリキュラム再構築の取り組み
― 病院救急救命士が参画する道北ドクターヘリ教育体制 ―
▶大滝　達也（旭川医科大学病院　救急科）

PD2-2　ドクターヘリCSの早期育成に向けた教育体制の構築
▶高橋　宏之（中日本航空株式会社）

PD2-3　フライトドクター育成におけるメディカルラリーの有効性
病院前救急活動を基盤とした人材育成とチームづくり
▶富澤　悠貴（公立豊岡病院　但馬救命救急センター）

PD2-4　ドクターヘリ非基地病院における航空医療の人材育成とチームづくり
― 訓練・認定・多機関連携の実践
▶岩元　悠輔（札幌医科大学　救急医学講座）

PD2-5　令和6年能登半島地震からみえた航空搬送を支える「接続搬送」の重要性
～民間救急との連携によるチームづくりと人材育成
▶水野　光規（あいち小児保健医療総合センター　放射線科部）

11月20日（金）

第2会場（三の丸ホール　小ホール）

14：10～15：35

パネルディスカッション1／次世代が考える航空医療のこれから

座長　大森　一彦（順天堂大学医学部附属静岡病院）
　　髙橋　治郎（川崎医科大学）

PD1-1　救急科専攻医の立場からみるドクターヘリ搭乗とキャリアアップ
～新潟県 長岡赤十字病院の取り組み～
▶目黒　佑樹（長岡赤十字病院）

PD1-2　全国アンケート調査による脳死判定目的ドクターヘリ施設間搬送における制度上・運用上の課題
▶竹川　良介（大阪大学医学部附属病院　高度救命救急センター）

PD1-3　和歌山県ドクターヘリの22年にわたる運用経験を踏まえた次世代航空医療の課題と展望
▶國立　晃成（和歌山県立医科大学　救急集中治療医学講座）

PD1-4　鹿児島県における航空医療の未来 ― 離島医療を支える新技術の可能性 ―
▶高間　辰雄（鹿児島市立病院　救命救急センター）

PD1-5　洋上飛行地域における航空医療の安全性を考える
～運航10周年を迎えた奄美ドクターヘリの現状と課題～
▶中村健太郎（鹿児島県立大島病院　救命救急センター／鹿児島大学大学院　医歯学総合研究科　救急集中治療医学）

15：40～17：25

パネルディスカッション4／航空搬送中に最適な医療を提供するための取り組み

座長　小林　誠人（大阪府済生会千里病院）
　　益子　一樹（日本医科大学千葉北総病院）

PD4-1　ドクターヘリ飛行中のIP無線とJOINによる医療情報共有
▶齋坂　雄一（高知医療センター　救命救急センター）

PD4-2　IP無線Wi-Fiと医療情報アプリJoinを活用したドクターヘリ活動中のリアルタイム情報共有の取り組み
▶石倉　　健（三重大学医学部附属病院）

PD4-3　最善の医療と運航安全の両立を目指す組織横断型AMRM訓練の取り組み
▶石川祥一朗（あいち小児保健医療総合センター　小児救命救急センター）

PD4-4　AMRM訓練を通じて見えた患者急変時や機体トラブル発生時の意思決定と情報共有の課題
▶中村　將彦（名古屋市消防局　消防航空隊）

PD4-5　命をつなぐ医療の翼「Medical Wings」の機内環境と機種選定の実際
▶岡﨑　　徹（中日本航空株式会社　飛行機整備部）

PD4-6　「どこで、何を、どこまでするか」
― 搬送時間も治療時間へ変えるドクターヘリ機内処置戦略 ―
▶永嶋　　太（公立豊岡病院　但馬救命救急センター）

11月20日（金）

第3会場（報徳会館　天空）

9：40～11：00

パネルディスカッション5／フライトナースが遭遇したヒヤリハット事例

座長　船木　　淳（名古屋市立大学）
　　藤尾　政子（川崎医科大学附属病院）

PD5-1　ヒヤリハットはいつヒヤリハットになるのか？
－フライトナースの reflection on action から捉え直す安全文化の醸成－
▶花山　昌浩（川崎医科大学附属病院）

PD5-2　診断名にとらわれたアセスメントの危うさ
― 機内で呼吸状態が悪化した重症頭部外傷患者の一事例 ―
▶鈴木めぐみ（順天堂大学医学部附属静岡病院）

PD5-3　事前情報との乖離により複合的リスクが生じた転院搬送事例
― 安全文化醸成に向けた考察 ―
▶今　　大和（埼玉医科大学総合医療センター）

PD5-4　航空医療における患者の排泄支援と機内安全管理のジレンマ
― 長時間搬送事例を契機とした標準化への取り組み ―
▶上園早由里（鹿児島市立病院）

11：05～12：25

シンポジウム3／フライトナースが考える安全

座長　坂田久美子（愛知医科大学）
　　前田　礼子（鹿児島市立病院）

SY3-1　JSAS-R から考えるフライトナースの安全文化 ― 安全管理実践の可視化と継承 ―
▶中澤　弘子（社会医療法人緑泉会　米盛病院／日本航空医療学会　フライトナース委員会）

SY3-2　フライトナースの教育視点から考える安全 －経験の共有と顔の見える連携を通して－
▶宗兼　由佳（東海大学医学部付属病院）

SY3-3　教育担当者マニュアルの活用によるフライトナース安全管理教育の標準化
▶井上　裕太（愛知医科大学病院　高度救命救急センター）

SY3-4　フライトナースが考える安全：AMRM や TeamSTEPPS を用いたチーム医療の実践と公正な文化の醸成
▶金子　　拓（岩手医科大学）

12：40～13：40

ランチョンセミナー1（共催：株式会社ウェザーニューズ）

座長　東　衣里香（株式会社ウェザーニューズ　航空気象事業部）

LS1　航空機運用総合調整システムへのドクターヘリ加入とその意義
～能登半島地震におけるニーズの解決～
▶高森　美枝（株式会社ウェザーニューズ　サービス運営責任者）

11月20日（金）

第3会場（報徳会館　天空）

14：10～15：10

主題関連セッション／パネルディスカッション2

座長　村岡　麻樹（水戸済生会総合病院）

主S1-1　地方ドクターヘリにおける持続可能性を目指したER physician主体運用体制
▶谷﨑　眞輔（福井県立病院救命救急センター）

主S1-2　整備士養成と運航会社確保にすべきことは？
▶上田　敬博（鳥取大学医学部附属病院　高度救命救急センター）

主S1-3　災害時ドクターヘリ空路搬送調整に特化した初のアドバンスコースの開発と開催報告
▶本村　友一（日本医科大学千葉北総病院　救命救急センター／日本医科大学　救急医学教室）

主S1-4　自施設運航データに基づく地理的特性を考慮したドクターヘリ判断支援アプリの開発と意思決定の平準化
▶大西　新介（手稲渓仁会病院）

主S1-5　臨床工学技士の同乗によるドクターヘリ重症患者搬送体制の構築と安全性の検証
▶小野　浩平（大分大学医学部附属病院　医療技術部　臨床工学・歯科部門）

15：15～16：15

一般演題14／安全管理（看護）

座長　小林　大祐（山梨県立中央病院）

O14-1　広島県フライトナース勉強会における安全管理に関する探索的検討
▶佐々　智宏（広島大学病院）

O14-2　ドクターヘリに同乗する家族への支援 ～安全管理に着目した症例の振り返り～
▶杉山　　遥（順天堂大学医学部附属静岡病院）

O14-3　A病院プレホスピタルケア症例検討会における安全管理上の課題の分析
― フライトナースの教育的介入点の検討 ―
▶渡邊　直貴（東海大学医学部付属病院）

O14-4　道南ドクターヘリ11年間のインシデント・アクシデント発生状況
▶井下田　恵（市立函館病院　看護局）

O14-5　ドクターヘリ機内における挿管困難症例に対する代替資機材の有用性
▶石田　智之（公立豊岡病院　但馬救命救急センター）

O14-6　プレホスピタルから実践する移行支援 ～小児窒息疑い事案での一例～
▶岩本　芳樹（川崎医科大学附属病院）

16：20 ～ 17：20

一般演題 15／フライトナースの教育・育成（看護）

座長　柳原佐友里（東海大学医学部付属病院）

O15-1　フライトナースラダーⅡを対象とした教育プログラムの改定
－実機・机上シミュレーションを併用した教育－
▶佐藤　圭信（東海大学医学部附属病院）

O15-2　フライトナース候補生を対象とした多職種評価による OSCE の導入
▶森崎和香子（八戸市立市民病院　看護局）

O15-3　フライトナース OJT 開始前の同伴フライトが看護師のチーム医療参加に与える影響
▶松本みゆき（兵庫県立加古川医療センター）

O15-4　OJT と先輩フライトナースの「出来たこと」に対する着眼点の違い
－活動動画の振り返り内容のテキストマイニング分析－
▶渡部笑梨華（埼玉医科大学総合医療センター）

O15-5　ドクターヘリ機体見学と活動報告を通した広報活動の有用性
▶牧　　純一（熊本赤十字病院）

O15-6　フライトナースが描くキャリアパスの現状と課題
▶勝又　広太（済生会滋賀県病院　看護部　ICU）

11月20日（金）

第4会場（報徳会館　琥珀）

10：15～11：05

一般演題1／小児・周産期

座長　石川祥一朗（あいち小児保健医療総合センター）

O1-1　福井県ドクターヘリにおける15歳未満小児症例の検討
▶谷﨑　眞輔（福井県立病院救命救急センター）

O1-2　ドクターヘリによる小児重症患者の施設間搬送の特徴と安全性の検討
▶尾川　　陽（日本医科大学千葉北総病院　救命救急センター／日本医科大学　救急医学教室）

O1-3　救命から機能回復へ ～ JCCNを介した重症小児頭部外傷における広域医療連携～
▶中村健太郎（鹿児島県立大島病院　救命救急センター／鹿児島大学大学院　医歯学総合研究科　救急集中治療医学）

O1-4　乳幼児抱っこ搬送から考える小児航空搬送の安全性
▶鈴木麻友子（あいち小児保健医療総合センター　看護部　救急外来）

O1-5　寒冷環境下における保育器及び人工呼吸器回路口元温度の評価
▶中村　秀勝（北海道立子ども総合医療・療育センター新生児内科／北海道航空医療ネットワーク）

11：15～12：25

一般演題2／安全管理　運航・CS危機対応

座長　小綱　博之（佐賀大学医学部附属病院）

O2-1　患者搬送中に荒天により予防着陸が実施された1例
▶塩谷　駿人（前橋赤十字病院　集中治療科・救急科）

O2-2　ドクターヘリ搬送における安全判断―空路搬送を断念した4症例
▶西川　里穂（前橋赤十字病院）

O2-3　長時間の水上飛行をしないドクターヘリのフライトドクターが不時着対応訓練（ADC）を受けて実行した安全管理施策
▶加藤　陽一（熊本赤十字病院救急科）

O2-4　固定翼機搬送の舞台裏 ～安全運航を支えるスケジュール管理と多機関連携～
▶宗安　利奈（中日本航空株式会社）

O2-5　CSによる非常時対応の取り組みについて
▶浅田　寛太（エアロトヨタ株式会社　運航管理室）

O2-6　航空機の緊急事態発生時におけるCSの初動対応について
▶村澤　一馬（中日本航空　運航管理部　EMS1課）

O2-7　ドクターヘリ運航における安全対策の強化
― リチウムイオン電池火災リスクへの取り組み ―
▶木下　政広（中日本航空株式会社）

12：40 ～ 13：40

ランチョンセミナー 1（サテライト）（共催：株式会社ウェザーニューズ）

※映像・音声のみ中継です

座長　東　衣里香（株式会社ウェザーニューズ　航空気象事業部）

LS1　航空機運用総合調整システムへのドクターヘリ加入とその意義
～能登半島地震におけるニーズの解決～

▶高森　美枝（株式会社ウェザーニューズ　サービス運営責任者）

14：10 ～ 15：20

一般演題 3／安全管理　医療安全・組織文化

座長　井上　保介（社会医療法人大雄会　総合大雄会病院）

O3-1　ドクターヘリ運航における世代交代期の安全管理体制強化
～独自の TRM 研修と対話による安全文化継承～

▶丹羽　政晴（中日本航空株式会社　安全推進室）

O3-2　ドクターヘリ医療スタッフの暑熱安全管理に向けた推定深部体温の連続測定：初夏 1 か月半の予備的検討

▶花井由香里（奈良県立医科大学　高度救命救急センター）

O3-3　新潟県ドクターヘリにおける付添者向け「安全のしおり」作成の効果

▶出内　主基（新潟大学医歯学総合病院　高次救命災害治療センター）

O3-4　広島県ドクターヘリにおける病院前気管挿管困難因子の検討

▶鈴木　　慶（広島市立北部医療センター安佐市民病院／広島県ドクターヘリ）

O3-5　多職種で連携して成し遂げた 10,000 件の安全運航

▶津田　雅庸（愛知医科大学病院　高度救命救急センター）

O3-6　ドクターヘリ活動におけるフェーズ別 HR 上昇の記述的可視化

▶伊藤　憲子（奈良県立医科大学　高度救命救急センター）

O3-7　ドクターヘリ要請時における受傷原因物の取り扱いについて

▶原田　良亮（愛川町消防本部）

11月20日（金）

第4会場（報徳会館　琥珀）

15：25～16：15

一般演題4／教育・研修・訓練

座長　川副　　友（独立行政法人国立病院機構　仙台医療センター）

04-1　ドクターヘリＣＳの業務標準化・質の向上・安全運航へのエアロトヨタの取り組み
▶山本　瑞樹（エアロトヨタ株式会社　運航管理室）

04-2　ドクターヘリ症例検討会・実機訓練における ECPR の教育的介入の効果検討
▶松田　　唯（香川県立中央病院）

04-3　通信指令員教育導入前後におけるドクターヘリ覚知時要請の変化
▶説田　守道（日本赤十字社　伊勢赤十字病院／三重県救急搬送・医療連携協議会）

04-4　ドクターヘリ搭乗医療クルーに対するヘリコプター乗員向け不時着対応訓練（ADC）の教育効果
▶山口勝一朗（新潟大学医歯学総合病院　高次救命災害治療センター）

04-5　ドクターヘリ活動における搬送先病院選定を支援する地図アプリの開発
▶清水畑慶一（獨協医科大学病院　看護部）

16：20～17：20

一般演題5／外因性疾患

座長　藤田　　基（山口大学医学部附属病院）

05-1　消防と連携し、救命しえた外傷性心タンポナーデの１例
▶山川　泰明（香川県立中央病院）

05-2　医療介入により、高高度搬送に耐えうる状態に安定化することができた胸部外傷の一例
▶小野　文子（八戸市立市民病院　救命救急センター）

05-3　耕運機への巻き込まれによる下肢挫滅外傷に対し、挫滅症候群を考慮した対応とドクターヘリ要請が有効であった症例
▶小林　優一（神奈川県相模原市消防局津久井消防署警備課藤野分署）

05-4　電波状況不良な山間部の挟まれ外傷で良好な経過が得られた１例
▶宍戸　　肇（香川大学医学部附属病院救命救急センター／香川大学医学部脳神経外科／香川大学医学部附属病院救急医療支援センター）

05-5　離島で発生した右上肢完全離断症例に対し、コミュニケーションアプリを活用した病院前・病院間連携が有用であった一例
▶喜村　竜也（県立大島病院）

05-6　窒息患者では病院到着時の心停止例に生存退院を認めなかった：JSAS-R を用いた後方視的研究
▶谷口　裕亮（順天堂大学大学院医学研究科　救急・災害医学講座）

11月20日（金）

第5会場（報徳会館　玉葛）

10：15～11：15

一般演題6／航空医療体制・運用・MC　全体解析・レジストリ

座長　高須　　修（久留米大学病院）

06-1　病院外心肺停止に対するドクターヘリシステム起動と患者予後との関連：全国レジストリを用いた傾向スコアマッチング解析

▶蜂谷　聡明（石川県立中央病院　救命救急センター／金沢大学医薬保健学総合研究科　救急･災害医学分野）

06-2　ドクターヘリ要請率の地域差をもたらす要因の検討と改善へ向けて ― 三重県地域別解析 ―

▶宮崎伊佐夫（日本赤十字社　伊勢赤十字病院）

06-3　香川ドクターヘリ運用4年間のレジストリ解析 ― 現状と課題 ―

▶高橋　　悠（香川県立中央病院）

06-4　複数の病院前救急医療体制を有する地域におけるドクターヘリとドクターカーの使い分けについて：群馬県内2地域での検討

▶金畑　圭太（前橋赤十字病院　集中治療科・救急科）

06-5　JSAS-Rにおけるドクターヘリ現場要請例の要請までの時間と転帰の分布に関する研究

▶宮崎　敬太（奈良県立医科大学　救急医学／高度救命救急センター）

06-6　院外心停止患者に対するドクターヘリ要請の地域特性 ― 消防本部別解析からみた運用上の課題 ―

▶反町光太朗（福島県立医科大学　医学部　救急医療学講座）

11：25～12：25

一般演題7／航空医療体制・運用・MC　ICT・新技術・海外事例

座長　佐藤　哲哉（東北大学病院）

07-1　鹿児島県ドクターヘリ事後検証サイト導入後半期の効果と課題

▶今村　公俊（鹿児島市立病院）

07-2　離島ドクターヘリ転院搬送のロジスティクス課題に対する教育とICTを用いた搬送フロー改善の取り組み

▶森　　竜（鹿児島市立病院）

07-3　空飛ぶクルマの開発進捗と、EMS運航で期待される活用方法

▶佐藤　雄一（エアロトヨタ株式会社　運航管理室）

07-4　「盛岡モデル」始動 ― ドクターヘリ動態管理システムの効果検証 ―

▶森野　豪太（岩手医科大学附属病院　救急・災害医学講座）

07-5　スイス航空救助組織Regaにおけるヘリ搭乗・現場同行の経験報告

▶大森　一彦（順天堂大学医学部附属静岡病院）

07-6　ドクターヘリ搬送中の画像共有により迅速治療につながった脳底動脈閉塞の一例

▶山口　貴則（三重大学医学部附属病院　高度救命救急・総合集中治療センター）

11月20日（金）

第5会場（報徳会館　玉葛）

12：40～13：40

ランチョンセミナー2（共催：ERC System GmbH/フィンテック グローバル株式会社）

座長　渡邊　憲一（フィンテック グローバル株式会社）

LS2　空飛ぶクルマを用いた救命救急搬送

▶ Maik Sohl（ERC System GmbH）

14：10～15：10

一般演題8／航空医療体制・運用・MC　運用・地域連携

座長　齋藤　兄治（青森県立中央病院）

08-1　観光客増加が予想される山形県蔵王地域でのドクターヘリ活動について

▶武田健一郎（山形県立中央病院）

08-2　県境における山形県ドクターヘリの活動現況と今後の課題

▶山内　紗理（山形県立中央病院）

08-3　ドクターヘリの機体不具合により代替ヘリポートを使用した際の課題

▶國方　美佐（香川大学医学部附属病院　救急医療支援センター／救命救急センターICU）

08-4　ハイブリッドワークステーション導入後のドクターヘリ・ドクターカー同時出動の現状と課題

▶國分　亮太（三重大学医学部附属病院　高度救命救急・総合集中治療センター／亀山市消防本部）

08-5　本邦初のドクターヘリへのジアゼパム点鼻液（スピジア®）導入
— 病院前てんかん診療体制の構築 —

▶菊池　　仁（獨協医科大学　救急医学／獨協医科大学病院　救命救急・集中治療センター）

08-6　広域連携におけるドクターヘリ運航の課題と展望

▶梅木伽耶乃（中日本航空株式会社）

15：15 ～ 16：15

一般演題 9／航空医療体制・運用・MC　新しい搬送戦略・特殊環境

座長　川下陽一郎（徳島県立中央病院）

09-1　ランデブーポイントにおける Ride & Go 戦略
— 初期運用経験と適応基準の検証 —
▶宮越　達也（富山県立中央病院）

09-2　天城峠多数傷病者事案における動的ランデブーポイント選定と「峠越え」搬送戦略の有用性
▶大坂　裕通（順天堂大学医学部附属静岡病院）

09-3　悪天候下で近隣病院を一時診療拠点として活用したドクターカー・ドクターヘリ連携による多数傷病者対応の経験
▶中島　絵理（順天堂大学医学部附属静岡病院救急診療科）

09-4　福島県の帰還困難区域におけるドクターヘリ搬送時の放射線対応と運航判断の検討
▶三澤　友誉（福島県立医科大学　救急医療学講座）

09-5　離島医療における急患搬送の現状と課題
～ 3 年間の搬送データからみた時間的障壁と Network Centric Operation 導入の提案～
▶中尾　康介（鹿児島県立大島病院／鹿児島大学大学院　医歯学総合研究科　救急集中治療医学）

09-6　海上保安庁 EC225 による病院直接搬送初回受入れを契機とした運用・連携体制の検証
▶田口　裕司（はりま姫路総合医療センター）

16：20 ～ 17：20

一般演題 10／患者搬送・搬送医療

座長　町田　浩志（高崎総合医療センター）

010-1　大動脈緊急症の迅速な病院間搬送に向けた愛知県大動脈緊急症ネットワークの構築
▶星長　俊輝（藤田医科大学病院　救急総合内科）

010-2　ドクターヘリと病院救急車との連携について ～病院救急車導入から5年を迎えての成果～
▶三森　寛士（地方独立行政法人山梨県立病院機構　山梨県立中央病院）

010-3　警察ヘリ救助後にドクターヘリ搬送を行った外国人山岳雪崩事故の 2 例
▶中嶋　駿介（旭川医科大学　救急医学講座）

010-4　無人航空機による血小板製剤輸送に資する有効な包装方法の検証
▶薬師寺恒紀（横浜薬科大学）

010-5　離島医療における血液搬送装置の運用と課題
～当院における使用経験を踏まえた運用マニュアル策定～
▶才　あゆみ（鹿児島県立大島病院　救命救急センター）

010-6　JCCN による固定翼機搬送試験運航事業の現状と今後
▶福嶌　教偉（千里金蘭大学／NPO 法人　日本重症患者ジェット機搬送ネットワーク）

11月20日（金）

第6会場（報徳会館　珠玉）

10：15～10：55

一般演題 11／災害・多数傷病者

座長　石上　耕司（独立行政法人国立病院機構　水戸医療センター）

O11-1　ドクターヘリ支援本部業務の一環としての被災地内ドクターヘリ連絡担当基地病院機能代行
― 令和7年度大規模地震訓練の経験から ―
▶宮崎　　大（兵庫県立加古川医療センター　救急科）

O11-2　被災県基地病院を想定したドクヘリ本部訓練の実施と課題
▶高間　辰雄（鹿児島市立病院　救命救急センター）

O11-3　非都市部災害拠点病院における災害時航空搬送体制の考察および課題
▶河合　俊輔（佐久医療センター）

O11-4　災害時における医療搬送の分類について
▶三村　誠二（国立健康危機管理研究機構 DMAT 事務局）

11：00～11：40

一般演題 12／消防ヘリ・防災ヘリ

座長　岩村　高志（佐賀県医療センター好生館）　コメンテーター　府川　誠一（小田原市消防本部）

O12-1　救急救命士搭乗による消防防災ヘリ救急業務のニーズと課題
― 救急隊員493名の意識調査と過去10年の統計から ―
▶川江　翔平（岡山県消防防災航空隊）

O12-2　防災ヘリによる広域転院搬送におけるハイブリッドワークステーション救急救命士の役割
▶中山　大介（三重大学医学部附属病院／鈴鹿市消防本部）

O12-3　北海道消防防災ヘリコプターにおける高度医療機器の電磁適合性および高高度環境下での動作評価
▶谷口　圭祐（札幌医科大学医学部救急医学講座）

O12-4　海上保安庁ヘリの医療連携にかかる第五管区の取組について
▶田代　　司（海上保安庁第五管区海上保安本部関西空港海上保安航空基地）

11：45～12：25

一般演題 13／内因性疾患

座長　塩見　直人（滋賀医科大学医学部附属病院）

O13-1　ドクターヘリによる脳血管疾患疑い症例対応の10年間の推移 −症例数と重症度・転帰の変化
▶堀田　和子（東海大学医学部救命救急医学／東海大学医学部脳神経外科学）

O13-2　愛媛県ドクターヘリで搬送された急性期脳卒中症例の予後関連因子
▶斉藤　美瑛（愛媛県立中央病院）

O13-3　ECPR適応心肺停止症例におけるドクターヘリ搬送の検証 −香川県内2症例の経験から−
▶石橋　尚弥（香川大学医学部附属病院　救命救急センター）

O13-4　日本航空医療学会ドクターヘリ全国症例登録システムを用いた大動脈疾患に対する制吐剤使用の影響
▶柳川　洋一（沼津市立病院）

14：10～15：10

一般演題 16／転院搬送・小児・その他（看護）

座長　滝沢　　悟（前橋赤十字病院）

O16-1　ドクターヘリ転院搬送における転院搬送フローの見える化と標準化への取り組み
▶佐々木龍二（富山県立中央病院）

O16-2　道南地域で取り組むドクターヘリの施設間搬送
～チェックシート導入における効果の検証～
▶明堂　靖史（市立函館病院　看護部）

O16-3　離島搬送申し送り票導入後の活用状況と有用性の評価
～離島診療所看護師およびフライトナースへのアンケート調査～
▶友利　笑佳（医療法人　仁愛会　浦添総合病院　救命救急センター）

O16-4　小児・救急・航空医療をつなぐ小児専門フライトナース
▶岡宮　法子（あいち小児保健医療総合センター）

O16-5　先天性疾患を有する呼吸不全を呈した患児の搬送におけるフライトナースの看護実践
▶田口　真由（愛知医科大学病院）

O16-6　救命救急センターから他部署へ異動し活動するフライトナースの行動や思考の変化
▶新田　幸恵（医療法人渓仁会　手稲渓仁会病院　看護部　集中治療室）

11月20日（金）

第6会場（報徳会館　珠玉）

15：15～16：15

一般演題 17／家族・災害・その他（看護）

座長　平位　尚子（久留米大学病院）

O17-1　長崎県ドクターヘリ搬送時における非同乗患者家族の支援ニーズに関する実態調査
▶喜岡　昭子（NHO 長崎医療センター　高度救命救急センター　看護部）

O17-2　A 病院ドクターヘリと B 病院ドクターカーの同時介入が、効果的な家族支援と搬送先選定に結びついた一例
▶山根　康裕（総合病院　聖隷三方原病院）

O17-3　ドクターヘリ搬送となった重症患者家族に対する入院時重症患者対応メディエーターの早期介入に向けた取り組み
▶小坂　千尋（旭川赤十字病院）

O17-4　フライトナースに求められる災害対応能力
― フライトナース兼 DMAT 教育者のインタビューより ―
▶野口　真司（獨協医科大学病院）

O17-5　フライトナース育成における災害医療教育と DMAT 活動の位置付けに関する実態調査
▶若原　聖徳（済生会滋賀県病院）

O17-6　広域連携協定を締結した基地病院における 3 県合同フライトナース会の有用性
▶髙橋　　傑（東海大学医学部付属病院）